



東証一部：証券コード 8154



宮坂 健  
《楽園の塔》

# 第52期 グループ報告書

2019年4月1日 ▶ 2020年3月31日

Kaga Electronics  
Group Report

## EMSビジネスの競争力強化に注力

## 営業利益・経常利益は過去最高を更新



代表取締役会長 塚本 勲

代表取締役社長 門 良一

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。当社第52期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)における当社グループの業績につきましてご報告申し上げます。

当期の売上高は4,436億15百万円となり、前期に比べて大幅な増収となりました。電子部品事業が堅調に推移するとともに、企業買収効果が寄与しました。利益面では、営業利益が100億14百万円、経常利益が101億37百万円となり、ともに最高益を更新しました。このように当社においては新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響は軽微にとどまりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に計上した負ののれん発生益の解消や当期に計上した投資有価証券評価損により、

58億52百万円となりました。

当期末の配当につきましては、1株につき30円の普通配当に特別配当10円を加え1株当たり40円とさせていただきます。これにより中間配当金(1株当たり30円)と合わせた年間配当金は、1株当たり70円となります。

当社は、「中期経営計画 2021」で目指す、“我が国業界No.1企業”、“グローバル競争に勝ち残る企業”の実現に向けて、グループをあげて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注)EMS…Electronics Manufacturing Serviceの略語。製品の開発・生産を受託するサービス。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
4,436億15百万円 (前期比51.5%増)	100億14百万円 (前期比32.3%増)	101億37百万円 (前期比29.0%増)	58億52百万円 (前期比27.0%減)

2020年3月期業績や今後の見通しなど、門 良一社長がお答えします。

**Q** 2020年3月期決算の総括についてお聞かせください。

**A** 巻頭のご挨拶でもお話ししましたとおり、2020年3月期は、売上高は大幅増収、営業利益・経常利益は最高益を更新するなど、概して好調な決算だったと評価しています。なかでも、前の中期経営計画の目標であった「経常利益100億円」を、1年遅れとは言え実現したことで、経営としてもけじめをつけることが出来ました。

当社の中核事業である電子部品事業では、富士通エレクトロニクスの収益も一年を通して寄与し、部品販売ビジネスは売り上げを大きく伸ばしました。また、EMSビジネスが医療機器や車載関連向けに順調に推移しました。2月から3月にかけて、中国やマレーシアの一部の工場で操業を休止しましたが、業績への影響は幸いにも軽微にとどまりました。

2020年3月期は、「中期経営計画 2021」の初年度として、福島やタイでの新工場竣工、十和田パイオニアのグループ会社化など積極的な経営施策を展開しました。

このように、経営成績、施策ともに順調なスタートを切れたものと思っています。

**Q** 富士通エレクトロニクスのPMIの進捗状況についてお聞かせください。

**A** 昨年1月に富士通エレクトロニクスをグループ会社化して、初めて通期での決算でしたが、業績面では良かったことも悪かったことも両方ありました。良かったことは、利益率の改善です。売上総利益率が、6.3%から6.8%へと、0.5ポイント改善しました。独立系商社として世界中から集めた加賀電子の有力商材を扱わせることで利益率を向上させる作戦でしたが、今のところ、目論見通り進んでおります。

悪かったこともあります。米国サイプレス社との代理店契約が昨年10月に終了しました。上期には250億円ほどの売り上げがありましたが、下期以降はなくなりました。新規商材等の拡販を通じて、その穴を埋めなければいけません。

(注)PMI…Post Merger Integrationの略語。企業買収後における統合プロセスのこと。



代表取締役社長 門 良一

一方、事業面の成果としては、EMSビジネスでお客様4社からご注文をいただきました。昨年4月から富士通エレクトロニクスにEMS専任の営業部隊を立ち上げ、当社のEMS事業部と連携して、これまで有力顧客90社へアプローチした結果です。まだ37社と商談が継続中ですので、このなかから注文に繋がる案件が多数出てくるものと思います。

営業拠点や組織の統廃合も進めています。国内が先行しておりまして、既に名古屋の営業所は両社を統合、また、富士通エレクトロニクスの広島や長岡は閉め、当社の最寄りの営業所へ移管しました。海外では、米国や韓国で販社体制を見直し中です。

このように、やるべきことを着々と進めているところです。

## Q 新型コロナウイルスへの対策についてお聞かせください。

A 当社の対応としましては、2月27日、本社内に「新型コロナウイルス対策委員会」を設置し、当社グループ全社員の人命の安全、海外駐在員やその家族の安全確保・退避を支援しました。また、中国などロックダウン状態にある海外工場へは、マスクや消毒液、そして食料品などを本社から大量に送り込みました。

その後、日本政府から「緊急事態宣言」が発出されたので、国内グループ会社全社に「テレワーク」を指示、約2か月間、外出自粛を徹底しました。結果、5月のオフィス出勤率は本社部門で平均22%でした。政府要請の「最低7割、極力8割削減」は概ね達成出来たものと考えています。

営業拠点につきましては、国内は基本テレワーク、海外も各国政府や行政機関の指導に従って、在宅勤務など、

安全第一で営業活動を継続しています。生産拠点につきましては、新型コロナウイルス対策の影響で一時的に休止した拠点もありましたが、現在は全拠点で安全対策を実施しながら、生産活動を継続しています。

## Q 2021年3月期の見通しについてお聞かせください。

A 新型コロナウイルスの終息については、全く先が見通せない状況ですが、当社グループとしては、国内外の生産拠点、営業拠点とも、特に支障なく動いている状況です。サプライチェーンも、調達面では、一部の部材にタイト感はあるものの、概ね復旧しています。その一方で、お客様の状況は先行き不透明です。特に、自動車関連は、国内外で工場の稼働休止や大幅な生産調整が続いています。

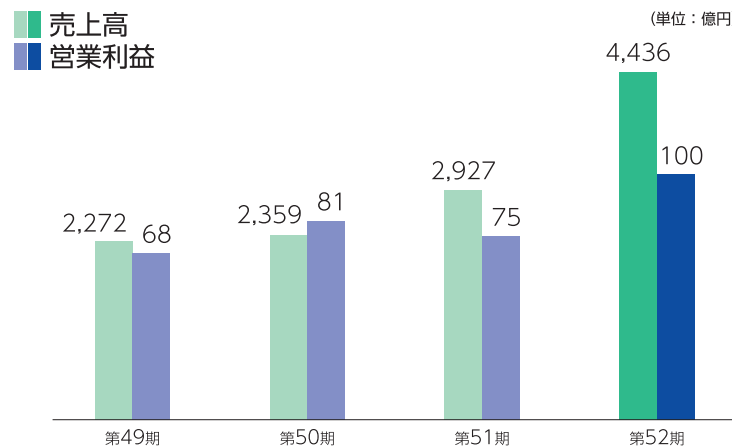
そういうことから、今般当社の2021年3月期の業績予想は、現時点では「未定」としました。コミットメントとしての業績予想は公表していませんが、大まかな方向感としては、売上高から営業利益は、大口商権喪失およびコロナ影響によって減収減益、当期純利益はエクセル買収に伴う「負のれん益」計上により増益、に目線をおいています。

わたしは、コロナ終息には最低でも1年、長ければ3年程度を要するものとして、経営に当たらねば、と覚悟しています。

“コロナ後”を見据えて当社グループの構造改善にも着手する考えですが、こんなときだからこそ、当面は社員の安全と雇用の確保を優先してまいりたいと考えています。

このような構えで2021年3月期の経営にあたります。引き続き、ご支援のほど宜しく願いいたします。

## 売上高・営業利益の推移



## 経営目標

	2019年度業績	最終年度経営目標 (2021年度)
売上高	4,436億円	5,000億円
営業利益	100億円	130億円
R O E	7.6%	8.0%以上

(注) 表示単位未満四捨五入

## 中期経営計画2021





加賀電子グループは、エレクトロニクス総合商社として、つねにあらゆる可能性にチャレンジしてきました。F.Y.T.の精神に基づく様々な取り組みをご紹介します。

**F.Y.T. [ファイト]**

Flexibility ▶ 柔軟性を持って  
Young ▶ 心の若さを持って  
Try ▶ 絶えず挑戦

ファイト・スピリッツ

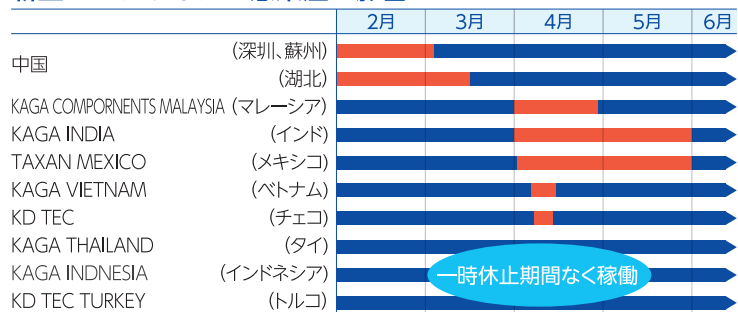
#01

新型コロナウイルス感染症への取り組みと当社状況のご報告

国内・海外の拠点稼働状況

国内各拠点ではテレワークや時差出勤を実施、生産拠点では安全対策を講じながら最小限の人数での操業となっております。海外工場では直近5月末までメキシコとインドで操業を一時休止しておりましたが、現在は全拠点で稼働しております。営業拠点でも各国政府等の指導に従い安全対策を講じながら営業活動を継続しております。

新型コロナウイルス感染症の影響



検温器を設置し、入館時の検温を実施

本社および一部国内拠点では、非接触式セルフ検温端末(検温器)を設置し出社社員のほか来訪者も含め入館時に検温を実施。37.5度以上の方は入館不可としております。



休校のため自宅で過ごす子供たちへ向けて『やさいのようせいN.Y.SALAD』無料公開

当社グループ会社の株式会社デジタル・メディア・ラボは、自宅待機する子供たちに向けて制作に携わったファミリー向けアニメ作品『やさいのようせい N.Y.SALAD』を無料公開しております。是非ご覧ください。

スマートフォンからでも  
ご覧いただけます



<https://www.youtube.com/channel/UC8EwFQnEloXDjxvbcSGzjMw>

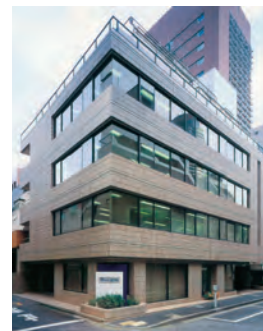


ファイト・スピリッツ

#02

(株)エクセルのグループ会社化

2020年4月1日よりエレクトロニクス商社である株式会社エクセルをグループ会社化いたしました。これにより、シェアの拡大、EMS事業規模拡大、新規事業の獲得などのシナジー効果を見込み当社グループ経営の規模および質の向上に取り組んでまいります。



名 称	株式会社エクセル
所 在 地	東京都港区西新橋三丁目12番10号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長執行役員 大滝 伸明
事 業 内 容	液晶等表示デバイス、集積回路、半導体素子、その他の電子部品および電子機器の販売ならびに輸出入
資 本 金	30億86百万円
設 立 年 月 日	1961年7月25日

ファイト・スピリッツ

#04

ホームページをリニューアル

2020年4月より当社のホームページを全面的にリニューアルいたしました。ホームページには、会社情報や事業内容、決算・IR情報など動画を交えながらわかりやすく表示しております。是非ご覧ください。

IRメール配信サービス

※適時開示情報のメール配信サービスも行っております。こちらも是非ご覧ください。

<https://www.taxan.co.jp/jp/ir/irmail/index.html>



ファイト・スピリッツ

#03

ベンチャー投資活動のご報告

創立50周年を記念して始めた「50億円ファンド」。ユニークな技術・製品やビジネスモデルを構想・展開するベンチャー企業への出資を通じて、将来の当社グループの成長を支える新規事業の創出を図っています。

主な投資実績は次のとおりです。

社名	事業内容
ライフイズテック株式会社	中学生・高校生向けIT・プログラミング教育キャンプ/スクール/イベントの企画・運営、オンラインプログラミング教育サービスの開発・運営
株式会社Sun Asterisk	デジタルトランスフォーメーション推進支援、グローバルIT人材の育成・紹介
株式会社CMerTV	動画広告のプラットフォーム事業、動画CM配信および周辺事業、動画制作・編集 ほか
M17 Entertainment Limited (台湾)	ライブ配信アプリ「17 Live」の運営等 (国内運営会社: 株式会社17 Media Japan)

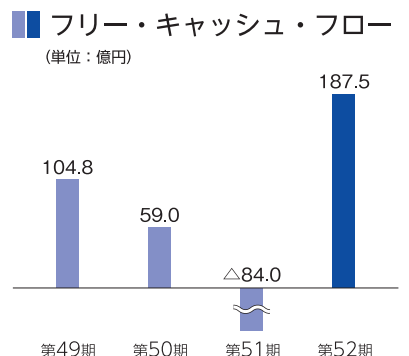
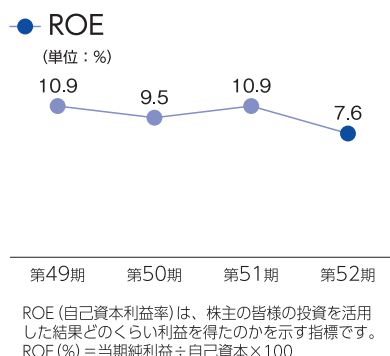
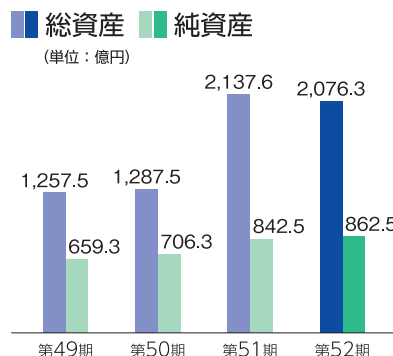
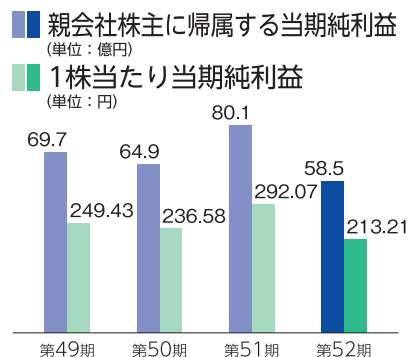
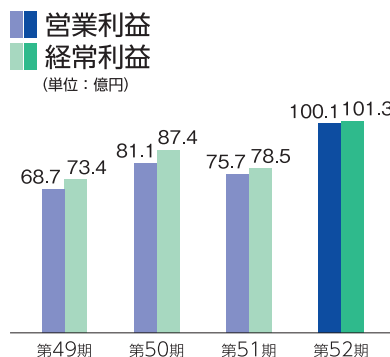
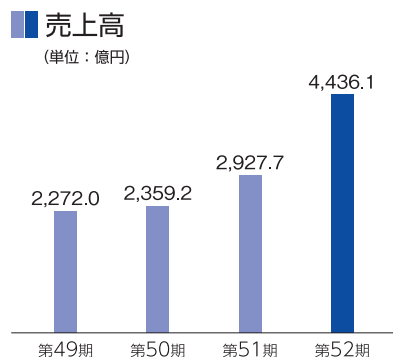


当社ホームページ

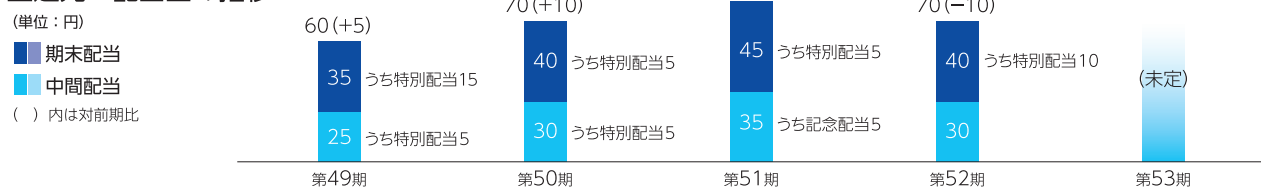
<https://www.taxan.co.jp/>



- 富士通エレクトロニクス連結化の通期寄与もあり大幅増収
- 営業利益は15期ぶり、経常利益は2期ぶりの最高益更新
- 当期純利益<sup>(注)</sup>は前期計上の「負ののれん益」解消、投資有価証券評価損により減益



## 株主還元：配当金の推移



## 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期末 (2020年3月31日現在)	前期末 (2019年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	174,331	182,396
固定資産	33,306	31,364
有形固定資産	17,974	15,011
無形固定資産	2,256	2,206
投資その他の資産	13,075	14,147
資産合計	207,638	213,761
<b>負債の部</b>		
流動負債	93,655	121,340
固定負債	27,732	8,161
負債合計	121,388	129,501
<b>純資産の部</b>		
株主資本	79,097	75,272
資本金	12,133	12,133
資本剰余金	13,878	13,865
利益剰余金	55,091	51,297
自己株式	△2,005	△2,024
その他の包括利益累計額	△812	1,332
非支配株主持分	7,965	7,654
純資産合計	86,250	84,259
負債純資産合計	207,638	213,761

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当期 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)	前期 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)
売上高	443,615	292,779
売上原価	396,598	257,233
売上総利益	47,016	35,546
販売費及び一般管理費	37,001	27,976
営業利益	10,014	7,570
営業外収益	1,485	1,015
営業外費用	1,362	726
経常利益	10,137	7,859
特別利益	709	2,403
特別損失	1,560	614
税金等調整前当期純利益	9,286	9,649
法人税、住民税及び事業税	3,054	1,477
法人税等調整額	△61	120
法人税等合計	2,992	1,597
当期純利益	6,293	8,051
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純利益	5,852	8,014
非支配株主に帰属する当期純利益	441	37

(注) 記載金額単位未満の端数については、切捨ての方法で表示しております。

## セグメント別の業績

### 電子部品事業

3,775億87百万円(前期比67.4%増)

EMSビジネスは医療機器、車載関連向けが年間を通して順調に推移しました。本年2月から3月にかけて、中国およびマレーシアにおいて両国政府のCOVID-19感染拡大抑止策により操業を休止しましたがその影響は限定的でした。一方、部品販売ビジネスは、車載機器向けや民生電子機器向けのLED製品などの販売が順調だったことに加え、富士通エレクトロニクスのグループ会社化により車載機器向けを中心とした新たな収益基盤が加わりました。また、同社の主要仕入先であった米国サイプレス社との販売代理店契約終了(2019年10月10日公表)に伴う一過性の収益も寄与しました。これらの結果、売上高は3,775億87百万円(前期比67.4%増)となり、セグメント利益は75億3百万円(前期比57.6%増)となりました。

### 情報機器事業

434億66百万円(前期比2.0%減)

パソコン・PC周辺機器販売ビジネスは、消費税増税前の買い替え需要やウィンドウズ10への切り替え需要を取り込み、家電量販店向け、学校・教育機関向けとも好調に推移しました。一方、住宅向け家電販売ビジネスは販売先の納期調整の影響を受け低調な状況が続く、商業施設向けのLED設置ビジネスも大口顧客の置き換え需要が一服しました。これらの結果、売上高は434億66百万円(前期比2.0%減)となり、セグメント利益は17億7百万円(前期比10.4%減)となりました。

### ソフトウェア事業

27億78百万円(前期比3.4%減)

アミューズメント機器業界における顧客の開発日程延伸や事業規模縮小などの影響で、CGアニメーション制作やゲームソフト開発などの受注は厳しい状況が続きました。これらの結果、売上高は27億78百万円(前期比3.4%減)となり、セグメント利益は2億36百万円(前期比4.3%減)となりました。

### その他事業

197億81百万円(前期比0.9%減)

アミューズメント業界向けにゲーム機器販売が好調に推移しました。PC周辺機器および携帯電話のリサイクルビジネスも堅調に推移しましたが、ゴルフ用品販売は伸び悩みました。これらの結果、売上高は197億81百万円(前期比0.9%減)となり、セグメント利益は4億52百万円(前期比7.8%減)となりました。

より詳細な財務情報は弊社HPをご覧ください。



主な国内拠点



- 本社 TEL. 03-5657-0111
- 電子事業部 TEL. 03-5657-0121
  - 北関東営業所 TEL. 048-667-3321
  - 北陸営業所 TEL. 076-262-0711
  - 関西営業所 TEL. 06-6105-0430
  - 名古屋営業所 TEL. 052-746-6480
  - 新横浜営業所 TEL. 045-473-7321
  - 浜松営業所 TEL. 053-457-1661
  - 福岡営業所 TEL. 092-282-1140
  - 仙台営業所 TEL. 022-722-7410
  - 新潟営業所 TEL. 0258-38-8351
  - 広島営業所 TEL. 084-973-7051
  - オートモーティブ営業部 TEL. 03-5657-0122
  - オートモーティブ営業部 TEL. 052-746-6480
  - 特販営業部 TEL. 03-5657-0123
- 通信事業部 TEL. 03-5657-0120
  - 営業推進事業部 TEL. 03-5657-0114
- EMS事業部 TEL. 03-5931-0106
  - 営業部一課 TEL. 06-6105-0433
  - 営業部二課 TEL. 06-6105-0433
- 特機事業部
  - 営業一部 TEL. 03-5931-0102
  - 名古屋営業課 TEL. 052-746-6481
  - 関西営業課 TEL. 06-6105-0430
  - 営業推進部 TEL. 03-5931-0102
  - AM営業部 TEL. 03-5931-0103
- 技術統括部 TEL. 03-5657-0130

主な国内関係会社

- 加賀テック(株) TEL. 03-5657-0140
- 加賀デバイス(株) TEL. 03-5657-0144
- 加賀ソルネット(株) TEL. 03-5931-0123
- (株)イー・ディー・デバイス TEL. 03-5657-0141
- 加賀マイクロソリューション(株) TEL. 03-5657-0150
- (株)デジタル・メディア・ラボ TEL. 03-5931-0147
- 加賀スポーツ(株) TEL. 03-5657-0148
- 加賀アミューズメント(株) TEL. 03-5931-0134
- 加賀テクノサービス(株) TEL. 03-5619-4111
- 富士通エレクトロニクス(株) TEL. 045-473-8030
- 加賀EMS十和田(株) TEL. 0176-25-1131
- (株)エクスセル TEL. 03-5733-8401

主な海外関係会社

- KAGA (H.K.) ELECTRONICS LIMITED
- KAGA (SINGAPORE) ELECTRONICS PTE LTD
- KAGA (KOREA) ELECTRONICS CO.,LTD.
- KAGA (TAIWAN) ELECTRONICS CO.,LTD.
- 加賀電子(上海)有限公司
- KAGA ELECTRONICS (THAILAND) COMPANY LIMITED
- KAGA ELECTRONICS (USA) INC.
- 加賀電子(大連)有限公司
- KD TEC s.r.o.
- TAXAN MEXICO, S.A. DE C.V.
- KD TEC TURKEY ELEKTRONIK SANAYI VE TICARET LIMITED SIRKETI
- KAGA ELECTRONICS INDIA PRIVATE LIMITED

主な海外拠点



■ 会社概要

設立 1968年9月12日  
 資本金 121億3,354万円  
 従業員数 567名 (単体: 男382名・女185名)  
 平均年齢 42歳 (男44歳・女37歳)  
 事業の内容 当社は、電子機器用エレクトロニクス部品の企画、開発、製造、仕入販売、コンピュータおよび周辺機器・関連部品・付属品・ソフトウェアなどの仕入販売ならびに輸出入を主な業務とし、これに付帯する業務も営んでおります。

■ 役員

代表取締役会長	塚本 勲
代表取締役社長	門良 一
専務取締役	高橋 信 佐
専務取締役	寛 新 太 郎
常務取締役	川村 英 治
取締役	俊成 伴 伯
取締役	野原 充 弘
社外取締役	三吉 暹
社外取締役	田村 彰
社外取締役	橋本 法 知
常勤監査役	亀田 和 典
常勤監査役	石井 隆 弘
社外監査役	橘内 進
社外監査役	佐藤 陽 一

■ 株式の状況

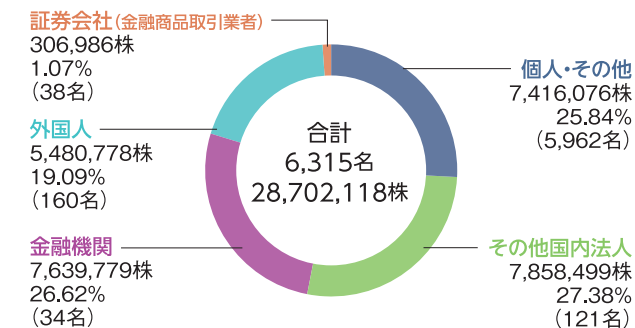
発行可能株式総数	80,000,000株
発行済株式総数	28,702,118株
単元株式数	100株
株主数	6,315名

■ 大株主の状況

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1. 株式会社三共	3,824	13.93
2. 株式会社OKOZE	1,840	6.70
3. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,385	5.04
4. 株式会社三菱UFJ銀行	1,212	4.42
5. 加賀電子従業員持株会	1,160	4.23
6. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,096	3.99
7. 株式会社みずほ銀行	950	3.46
8. 塚本 勲	732	2.67
9. 三菱電機株式会社	500	1.82
10. 日本生命保険相互会社	459	1.67

(注) 1. 持株数は千株未満を切捨てて記載しております。  
 2. 上記のほか、自己株式が1,241千株あります。  
 3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
 4. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)および日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)の持株数は、信託業務によるものであります。

■ 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞(東京)に掲載します。 公告掲載URL <a href="https://www.taxan.co.jp/">https://www.taxan.co.jp/</a>

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。

## 住所変更、単元未満株式の 買取・買増などのお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出ください。



表紙・絵

宮坂 健

KEN MIYASAKA

楽園の塔

どこまでも澄み渡る青い空に花が咲き鳥が舞う楽園、人類やあらゆる生物の記念碑的な塔がそびえている。いつか旅の眠りの中で見た景色だ。私たちの住む地球は彼方にある。百億の時の彼方にこの景色が誰も知らない銀河の何処かに存在しているかもしれない。

## プロフィール

作者略歴：1949年生まれ 安井賞展、  
浅井忠記念賞展、セントラル油画大賞展、  
日本青年画家展など  
個展：日本橋三越など  
著書：『地球、旅の記憶』

## 日興IR「2019年度 全上場企業ホームページ充実度 ランキング調査」において「最優秀サイト」を受賞

加賀電子は、全上場企業3,807社を対象として日興アイ・アール株式会社が選定する「2019年度全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」において「最優秀サイト」を受賞しました。日本語・英語ともにIRサイトを中心として掲載コンテンツの充実、視認性や利便性向上を図った結果、高い評価をいただきました。

なお、大和インベスターリレーションズ株式会社が選定する「2019年インターネットIR表彰」でも、「優良賞」を受賞いたしました。



2019  
日興アイ・アール  
総合ランキング



〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地  
TEL 03-5657-0111 (代) FAX 03-3254-7131  
<https://www.taxan.co.jp/>  
東証一部：証券コード 8154

(お問い合わせ先) IR・広報室 TEL 03-5657-0106